

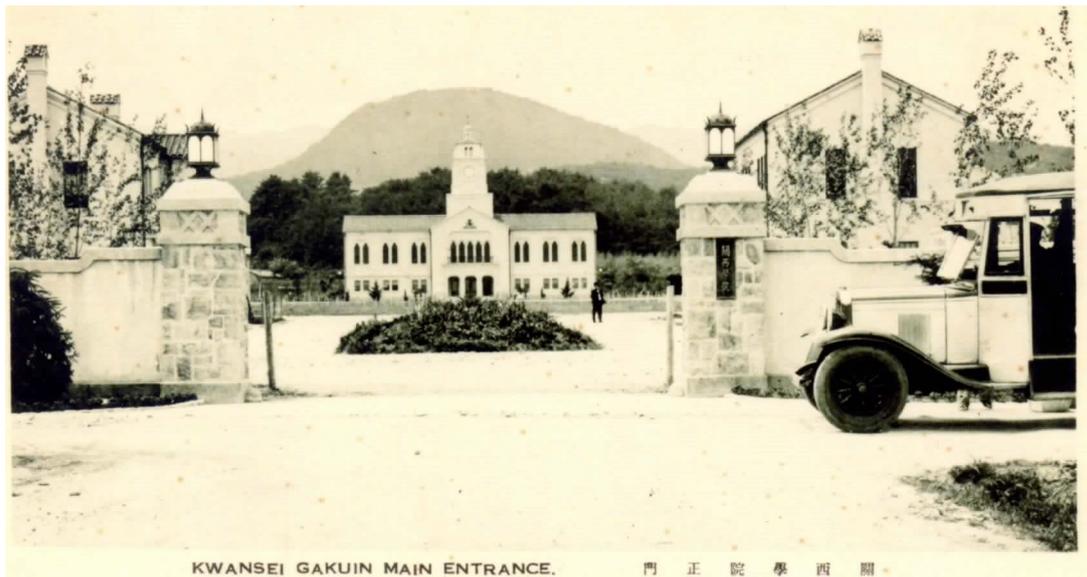
チャペル週報

No.27

2023.1.6～1.16

自由な人として生活しなさい。しかし、その自由を、悪事を覆い隠す手だてとせず、神の僕として行動しなさい。

(ペトロの手紙一 2章 16節)



正門より甲山を望む（西宮上ヶ原キャンパス 1930年頃）

関西学院宗教センター

新年を迎えて 共に在る

小山 顕

私のアメリカでの学生時代、その後の現地心理クリニックでの勤務時代を通して多くの指導者たちから繰り返し教えられたことが「共に在ること Be with. Stay with.」の大切さである。対人援助専門職にとって支援の相手と身も心も共に在るということは、その支援に命を吹き込むための源であるが、この「共に在る」ということの持つ意義は決して特定の職業に就く人々に限られたものではなく、万人にとって意義深い事柄である。しかしながら共に在るということは決して容易いことではない。なぜなら私たちは私たちが誰かと共にあることを妨げる誘惑に常に駆られているからである。そしてその誘惑の多くは私たち自身の内側から来るのだ。

相手の話を聞いている時、私たちは気づかぬ間にその相手に焦点を当てることを忘れ自分が気になっている様々なことに思いを巡らしてしまう。また相手の話を聞き始めた途端に、静けさをもってそこにただとどまることが出来ずに慌ただしく高速スピードで“答え”を考え始める罠にいつも簡単に陥ってしまう。コロナ禍において Social distance と言われる中で、私たちが他者とそこにとどまり、共に在ることが以前にも増して難しくなっているのかもしれない。しかし一方では、共に在ることの意義の深さをより痛感させられているのではなかろうか。

児童書の編集者である松居直さんは、絵本を読み終えても子どもが「もう一回読んで！」というのは「一緒にいて！」ということだと述べている。共に在るとはなんと心強く、愛に満ち、慰め深いことであろうか。人は深くつながり、共にとどまってくれる存在を常に求めている。

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである」(ヨハネによる福音書 3 章 16 節)。神は私たちと共に在りたいと願い、イエスの誕生を通してその計り知れない愛を私たちに示して下さった。

2023 年という新しい年が明けた。内外に暗い争いごとが頻発するこの世界にあって、関西学院に連なる私たちは“聖なる火”を絶やさぬ者として遣わされるあらゆる場所で灯りをともしていく。今、まさにこの時「共に在る」あなたという存在を必要としている隣人がいる。その人々と共に在り、仕えることによってこそ私たちは真の喜び、恵みとは何かを見出すことができる。

(聖和短期大学専任講師)

チャペルアワー スケジュール

西宮上ヶ原キャンパス、西宮聖和キャンパス・・・10:30-11:00
神戸三田キャンパス・・・10:40-11:10

1/6 金

神 公現日礼拝 森本 典子 (神学部専任講師)
文 Chapel in English Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 新しい年を迎えて～公現日を覚えて～ 舟木 讓 (宗教主事)
院 新年度を迎えて 井上 智 (宗教センター宗教主事)
理・工・生環 ALL 賛美歌プログラム②

11 水

神 小田部 進一 (神学部教授)
社 学年度末にあたって 森 康俊 (社会学部長)
法 大宮 有博 (宗教主事)
商 広瀬 憲三 (商学部長)
人 嶺重 淑 (宗教主事)
国 平林 孝裕 (宗教主事)
理・工・生環 ALL 賛美歌プログラム③
教 学期末に向けて 山本 健司 (教育学部長)

12 木

聖和 聖書のお話を聞こう 「キリスト教保育Ⅱ」クラス

16 月

神 土井 健司 (神学部長)
経 2022 年度最終チャペルを迎えて 李 相勲 (宣教師、経済学部専任講師)
人 武田 丈 (人間福祉学部長)
建 Christian Triebel (宣教師、学長直属助教)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10～8:30 ランバス記念礼拝堂 (西宮上ヶ原)
1月6日 (金) 新年を迎えて 本郷 亮 (経済学部教授)
毎週金曜日、各テーマに沿ったお話を聞き、参加者で祈りを捧げています。学生・教職員の方々に開かれた祈祷会です。ランバス礼拝堂と Zoom 併用で実施しておりますので、ぜひご参加ください。
Zoom でご参加希望の教職員・学生の方は、宗教センター (shukyocenter@kwansei.ac.jp) へ
①メールアドレス②お名前③所属④関学との関係 (学生等) をメールでお知らせください。

●院長室から発信！ ビデオメッセージ「風に思う」配信のご案内

院長室からのビデオメッセージ「風に思う」の配信が始まりました。毎回、聖書の言葉を取り上げ、それが今を生きる私たちに何を語るか、短くお話しします。キャンパスの美しい風景と合わせて、関西学院の中心となる精神に触れてください。
(月2回程度で更新されます)



<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazeniomou> 「風に思う」 関西学院 院長室からのメッセージ (HP)

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日 (原則) の午前 10 時から関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っております。

どなたでも (クリスチャンでなくとも) ご参加できますのでどうぞお越しください。

1月 8日 (日) 10:00～11:00

1月22日 (日) 10:00～11:00

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプローチタワー14階の大阪梅田キャンパス（1405教室）では、大学院授業期間中の月1回木曜日にチャペルアワーを開催します。

【どなたでもご自由にご参加ください。】

1月12日（木）17:50～18:10 井上 智（宗教センター宗教主事）

●阪神淡路大震災記念礼拝

関西学院では、1995年の阪神・淡路大震災で、学生15人、教職員ら8人が尊い命を失いました。この方々を追悼し、震災から学んだことを忘れないように、今年も記念礼拝を行います。

と き：1月17日（火）17:10～18:00

ところ：ランバス記念礼拝堂(NUC)

司 式：打樋啓史（宗教総主事）

メッセージ：「28年前の震災を覚えて～語り継ぐ・記憶にとどめる」枝川 豊（高中部長）

演 奏：関西学院聖歌隊 関西学院ハンドベルクワイア

主 催：関西学院宗教活動委員会

問合せ：関西学院宗教センター（0798-54-6018）お申込み不要・どなたでもご参加いただけます。

●東日本大震災メモリアル礼拝

と き：3月10日（金）14:30～15:00

ところ：ランバス記念礼拝堂(NUC)

司 式：井上 智（宗教センター宗教主事）

メッセージ：柳谷雄介（日本キリスト教団新生釜石教会牧師、本学卒業生）

●ボランティアに関心がある皆さんへ（ヒューマン・サービス支援室からお知らせ）

単発のボランティアや継続して関わるボランティア団体・サークルの紹介をしています。

[ボランティア参加までの流れ]

https://www.kwansei.ac.jp/c_volunteer/c_volunteer_m_001740.html

[相談予約・お問い合わせフォーム]

個別にボランティアの紹介や相談対応をしています。

<https://onl.tw/UBvnyqX>

●CD・DVDライブラリー利用について

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

●今号が本年度「チャペル週報」の最終号です

2023年度は4月10日（月）号からの発行となります。新年度のチャペルや宗教センター、宗教活動委員会、吉岡記念館主催の催し物などのご案内をしております。また、教職員の方々によるメッセージやエッセイを掲載しますのでご期待ください。

関西学院宗教センター

<https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/>

